

# 令和5年度事業計画

公益社団法人東京屋外広告協会

## 【基本的考え方】

わが国経済は、長く停滞が続き他の先進諸国に比して相対的に競争力が低下しています。特にここ数年はコロナ禍に加えロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレなど大きな環境変化が押し寄せる中で、国内では人口減少や少子高齢化、人手不足が加速しており、厳しい状況に拍車がかかっています。いかにして構造的な問題を克服し、長期的な停滞感から持続的な成長への道筋をつけるかが待ったなしの状況です。政府は、新しい資本主義実現会議での議論を深めておりますが、豊かさを実感できる経済社会の早期の実現に期待したいと思います。

一方、屋外広告業界は、原材料や物流費用の上昇など広告資材の高騰で厳しい経営環境が続いておりますが、新宿や渋谷で大型ビジョンによる肉眼3D広告や応援広告が注目を集めています。コロナ禍で減少した人の流れが回復する中で、今までにも増して屋外広告の魅力を高める作業を模索しつつ、諸課題の解決に向けた取組も進められております。

このようなわが国の経済状況や広告業界等の動向を踏まえ、当協会としては、より時宜に応じた積極的な活動を推進する所存です。事業活動においては、昨年度第13回東京屋外広告コンクールを実施しましたが、公益社団法人にふさわしい事業であるコンクールや車体利用広告デザイン審査事業を積極的にPRし啓発に努め、全国にその存在を高めていく所存です。また、各委員会活動の充実を図るべく、会員や業界のニーズに沿った事業を、対面・リモートで柔軟に展開し、広く都民に周知するなど、メリハリの利かせ展開いたします。

以上の基本的考え方に沿って下記により事業活動を展開してまいります。

記

## 【公益目的事業】

### 1. 東京屋外広告コンクールのPR

受賞作品掲載のパンフレットは、東京のみならず全国の行政（都道府県、政令指定都市）の窓口へ広く頒布するとともに、業界紙による紹介やパネルによる公共の場で展示など広く周知に努めます。

### 2. 車体利用広告デザイン自主審査事業

東京都知事が指定した「車体利用広告のデザイン審査委員会」は、電車、バス、タクシー、広告宣伝車のデザイン審査を当協会の自主審査基準に基づいて行っています。この3年間はコロナ禍で件数が激減しましたが、ようやく落ち着いたことから、良好な景観の保持並びに交通の安全という基本的な観点に沿い、関係機関との連携を図りつつ、スムーズな審査はもとより、事業の啓発に努めます。

### 3. 屋外広告に関するセミナー・施設見学会等の実施

屋外広告に関わる最新の状況、経営の参考となる知識や情報はもとより、経済社会現象など時宜に応じたテーマを中心に実施し、対象となる会員企業の経営や人材育成に資するとともに、関係団体や広く都民へも提供します。

#### 4. 屋外広告に関する情報の収集・調査・研究及び普及啓発事業

(1) 機関誌「TOAA REPORT」を年3回発行します。

当協会の活動の他、行政による屋外広告関係の施策や各方面の取り組み等、役立つ情報を掲載し、会員のみならず広く都民に提供します。

(2) ホームページによる情報発信

屋外広告コンクールや車体利用広告デザイン審査などの事業を分かり易く掲載するとともに、機関誌「TOAA REPORT」のほか、行政や関係機関の屋外広告に関する取り組みや活動など広く情報提供します。

(3) 違反屋外広告物共同除却への協力

東京都が主導する都内各地における違法な放置看板、貼り紙等の共同除却作業に協力します。

#### [その他の事業]

#### 5. 会員相互のコミュニケーション・交流の促進

組織基盤の強化につながる様々な活動を行いつつ、コロナ禍で自粛していた会員相互のコミュニケーション及び関係機関との交流を円滑に展開します。

#### 6. 委員会活動、広報活動の強化

各委員会では行政等の情報や専門家による屋外広告に係るテーマを取り上げ、説明会や講演会の開催に努めます。その成果は、当協会の取り組みや活動として、機関誌「TOAA REPORT」や、ホームページに掲載するとともに、業界紙等の外部メディアを積極的に活用し会員や関係者のみならず広く都民等に周知し、当協会の活動を幅広くアピールするように努めます。

以上